



色の教え方・覚え方

色は、漠然と伝えても子どもには伝わりにくいので、色を指さして教えます。物の名前とは別に「色」があることから始め、その後に「色を言える」ようにしていきましょう。

いきなり色の名前を教えるよりも、まずは好きな色で「どっちが赤？」と2択選択をして、「こっち！」「当たった！」で大拍手！というように練習しましょう。

自然界の色は「色の基」。外に出たら「黄色のひまわり、きれいだね」などと指でさしながら教えましょう。子どもの視線に見える花が色の手本です。ただ、覚えるのは物の名前と違って時間がかかります。何度も繰り返して教えていきましょう。

